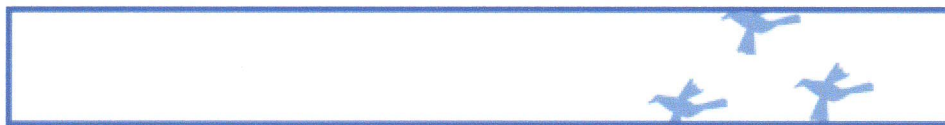
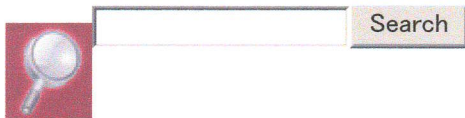


オフィス・マツナガのブログ



[油井富雄の医読同源](#) »

« [マリエ「F1ドライバーと路上KISS&朝帰り生現場」](#)

村上誠一郎元行革担当大臣は希少価値か

Written by takashikitaoka on 6月 19th, 2008 in [【政治】](#).

You can follow any responses to this entry through the [RSS 2.0](#) feed. You can skip to the end and leave a response. Pinging is currently not allowed.

「大宅壮一先生が『テレビ総白痴化時代』と呼んでいたが、実際その通りになった。今テレビでは真面目な番組よりお笑い芸人50人がぐるぐると番組を回っているだけ。

そのおかげで永田町も『ワンフレーズ・ポリテックス』をモットーとする総理やテレビ受けするコメントを出す政治家が増えてきた。実に情けない。これでは近い将来に日本が沈没する」



6月17日に行われた「村上誠一郎を励ます会」で村上代議士は声を張り上げて挨拶した。

村上元行革担当大臣は毎年、国会終了後のタイミングをもって「励ます会」を行っている。しかし、通常の政治家の励ます会とは違い、本人自らパネルを作り20～30分にわたって自らの考えを発表するというユニークな「励ます会」でもある。

パーティ参加者にとって乾杯・懇親、立食を前にしての20～30分講演は苦痛のようだが、村上元行革担当大臣の話が面白いので誰も文句は言わない。

来賓には高村正彦外務大臣、鴨下一郎環境大臣、若林正俊農水大臣ら。パーティ出席者は350人だった。